

運転技能大会を開催

全国6支社など参加

第一貨物

第一貨物(武藤幸規社長、山形市)は23、24の両日、山形県天童市の中央研修所・運転技能試験コースで運転技能競技大会を開いた。全国6支社の10チーム40人のほか、関係会社8社から8人がオブザーバーとして参加し、各競技で日頃の腕を競った。

開会式で、武藤社長が「大会は事故防止に向けた取り組みで、1958年から続く一大イベント。事故は、百害あって一利無し。被害者や顧客はもとより、加害者とその家族、会社にも大きなダメージを与える。引き続き、事故ゼロにまい進したい。今日は、日頃の實力を十分に発揮して欲しい」とあいさつ。

山形運輸支局の石川智弘支局長らの祝辞に続き、出場選手を代表して、阿部剛選手(山形支社B)が力強く選手宣誓を行った。事故は、百害あって一利無し。被害者や顧客はもとより、加害者とその家族、会社にも大きなダメージを与える。引き続き、事故ゼロにまい進したい。今日は、日頃の實力を十分に発揮して欲しい」とあいさつ。

トは1チームから1人が出場し、運転実技のみ行った。この結果、団体は山形支社Aが優勝。準優勝は山形支社B、3位には名古屋支社が入った。

個人の一部では、大型の部が田口桂一選手(北関東支社A)、4トンが小玉孝広選手(山形支社A)、2トンは渡部健選手(同)がそれぞれ優勝。

フォークリフトは渡辺聡史選手(仙台支社B)が1位に輝いた。

省燃費運転奨励賞は橋本寿夫(東京支社B)、小玉、沢村優矢(北関東支社A)の各選手が獲得した。

また、関係会社では、大型は渡辺秀一(東北第一物流)、古川卓(長野第一物流)の両選手、4トンは千葉豊和(東京第一物流)、松崎稔(福島第一物流)の両選手に奨励賞を贈った。



武藤社長の前で選手宣誓をする阿部選手

(黒田秀男)